

U・I ターン就職につなげる取り組み 大学生を対象に市内企業見学会を開催

9月19日（金）、市内企業の魅力や高い技術力を広くPRし、若者のU・I ターン就職につなげようと、市内企業見学会（主催：丹（まごころ）ワークサポートたんば）が開催され、就職活動を控えた関西大学の1～3回生の学生21人が参加しました。

学生たちは、東洋電機㈱（氷上町成松）、丹波ひかみ農業協同組合（氷上町市辺）、兵庫労働局を訪問し、メモを取りながら、各企業担当者の説明を熱心に聞く姿が見られました。



東洋電機㈱の工場内を見学する関西大学の学生

日本サッカー協会と 「夢の教室」実施協定 を締結しました



10月8日（水）に、丹波市と日本サッカー協会との間で、元Jリーガーをはじめ、スポーツ選手を夢先生として小学校などに派遣するJFA こころのプロジェクト「夢の教室」の実施協定を結びました。日本サッカー協会が平成19年に夢を持つことの素晴らしさを伝えようとはじめた事業で、各小学校にスポーツ選手が出向き、児童に夢を持つことの素晴らしさを伝える教室が行われます。



協定締結後には、ガンバ大阪などで活躍した元日本代表の永島昭浩さんが青垣地域の小学5年生41人を対象に、佐治小学校で授業を実施。児童に夢を持つことやそれに向かって努力することの大切さを伝えました

寿

長寿おめでとうございます！

市では、毎年9月15日を基準日として、最高齢の方、100歳、88歳の節目を迎えられたみなさんに長寿のお祝いとして、長寿祝金（商品券）を贈呈しています。今年は484人の方々にお届けしました。

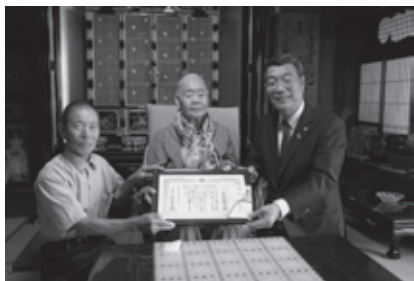
最高齢、100歳を迎えられた方々には、9月15日（月・祝）に市長らが表敬訪問し、「祝百寿」のお祝い状を贈呈しました。

◇対象者

年齢	生年月日	人数
最高齢	男女それぞれの最高齢の方	2名
100歳	大正2年9月17日～大正3年9月16日	20名
88歳	大正14年9月17日～大正15年9月16日	462名
合計		484名



宮瀬テイさん（写真左） ＊山南地域



中尾種子さん（写真中央） ＊柏原地域

市長からのメッセージ 【こちら市長執務室】



丹波市長 谷 重五郎

去る8月16日から17日未明にかけて丹波市を襲った記録的な豪雨は、尊い一名の命を奪うとともに、山腹崩壊・土砂崩れ等、市島地域を中心に家屋、田畑、山林、道路、橋等に甚大な被害をもたらしました。突然の災害に住居、農地を失うなど、被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

10月17日で、豪雨災害発生から2カ月が経過します。この間、全国から1万5千人を超えるボランティアの方々にご支援賜りました。人を超えるみなさんから多大なるご支援を賜りました。おかげさまで、もちまして、去る9月17日には、水道水の断水地域を解消しましたことを改めてご報告させていただきます。

被災された市民のみなさんは、この2か月間、衣食住すべてにわたって、物心両面で不自由な生活を余儀なくされ、さぞお疲れのことと存じます。災害の発生から復旧へと急激な環境の変化は肉体的にも精神的にもストレスがかり

「テーマ」

「災害発生から2カ月が経過」
被災されたみなさまへ 体調にご留意ください

なかには東北から車で駆けつけ、車中で寝泊まりしながら家屋の泥出しにご協力いただいた方もおられたと伺っております。また、「災害支援ボランティアネットワーク（まごころ）」のみなさんが東北での支援経験を生かし、ボランティアセンターの運営に関わっていただいたことも大きな助けとなりました。

さらに、災害発生の翌日から県下の各市町や県の職員の派遣をいただき、断水地域での給水活動や災害ゴミの収集運搬など、その数1千

辛い思いをされていることでしょう。疲れたときは、無理をせず十分な休養を心がけてください。市民のみなさんの健康や元氣な笑顔が一番の願いです。

市では、市島支所内に復興推進部を新設しました。安心・安全に暮らせるまちの再構築を図るため、被災されたみなさんの気持ちに寄り添いながら一日も早い復旧・復興に取り組む所存です。

生活環境部からのお知らせ

環境対策 東日本大震災では、廃棄物からハエやドブネズミが発生しました。生ごみはふた付きの容器に入れるなど、適切に処理しましょう。また、雑草は風通しがよくなるように刈り込むようにしましょう。

被災されたみなさまへ

健康部からのお知らせ

ほこり対策 被災地では復旧作業中にほこりが舞います。作業中のマスクの着用、うがい、手洗いをしましょう。

カビ対策 水害の後にはカビが発生することがあります。カビの発生に気がついた場合は、建物を清潔にして乾燥させましょう。カビの掃除には、漂白剤や消毒用エタノールが有効です。

体力保持対策 風邪をひきやすいこれからの季節、しっかりと休養・睡眠をとり1日3食きちんと食べて基礎体力を保持しましょう。

こころの健康相談 健康課では、健康相談を行っています。飲酒や喫煙の量が増えていますか？眠れない、だるい、食欲不振などあれば☎82-4567へご相談ください。



兵庫県内29市で構成される兵庫県市長会総会が10月7日（火）に、丹波市で開催され、県下の市長に8月豪雨災害の多大なる支援に対してお礼を申し上げました。

なかに東北から車で駆けつけ、車中で寝泊まりしながら家屋の泥出しにご協力いただいた方もおられたと伺っております。また、「災害支援ボランティアネットワーク（まごころ）」のみなさんが東北での支援経験を生かし、ボランティアセンターの運営に関わっていただいたことも大きな助けとなりました。

さらに、災害発生の翌日から県下の各市町や県の職員の派遣をいただき、断水地域での給水活動や災害ゴミの収集運搬など、その数1千

辛い思いをされていることでしょう。疲れたときは、無理をせず十分な休養を心がけてください。市民のみなさんの健康や元氣な笑顔が一番の願いです。